

おうらまち

議会だより



長柄幼稚園の新春もちつき

平成20年12月定例会

平成20年度補正予算可決（一般会計・各特別会計）

一般質問【8人の議員が町の考えを問う】

石井議員、大野議員、田部井議員、小倉議員
本間議員、山田議員、小沢議員、小島議員

- 可決された議案…………… 3
- 一般質問…………… 4～9
- わたしのふるさと等…………… 10～12

No 118

心豊かな 住みよい町づくりを目指して

議長年頭のあいさつ



議長 横山英雄



新年、明けましておめでとうございます。皆様には、健康で、希望に満ちた新春を、健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

さて、現在の社会経済情勢は、世界的な金融危機等による経済不況の中で、雇用、社会保障など多くの不安材料を抱えています。

このような状況の中、財政運営をはじめ本町を取り巻く情勢は依然として厳しく、今後ますます財政の健全化等、多くの課題を克服していく必要があるものと考えています。

地方分権改革が推進される昨今、自らの創意工夫で、安全で安心して、心豊かに生活できる地域づくりを、積極的に推進することが求められており、私たち議会の果たすべき役割と責任は、ますます大きくなってきております。

心豊かな住みよい町づくりを目指し、今後さらに鋭意努力し、皆様のご期待に応えられるように決意を新たにしておりますので、本年もなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

議長 横山英雄
副議長 相場一夫

総務・文教常任委員会

委員長 立沢稔夫
副委員長 小沢泰治
委員 細谷博之
" 本間恵治
" 山田晶子

厚生・環境常任委員会

委員長 小島幸典
副委員長 田部井健二
委員 大野 栄
" 相場一夫

建設・経済常任委員会

委員長 加藤和久
副委員長 黒川洋子
委員 石井悦雄
" 小倉 修
" 岩崎律夫

平成20年度補正予算可決される

(一般会計・各特別会計)

12月定例会

可決された議案

群馬県市町村総合事務組合の規約変更

組合の構成市町村の合併による廃置分合に伴い、組織団体等に変更が生じ規約を変更しました。

東毛広域市町村圏振興整備組合の規約変更

東毛臨海学校の閉鎖及び東毛歴史資料館の太田市への譲渡に伴い、規約を変更しました。

邑楽町行政財産使用料条例

行政財産に関し、目的外使用を認め、使用料の徴収を可能にするため条例を制定しました。

改正 邑楽町国民健康保険条例

出生育児一時金の給付につき、健康保険法施行規則が改正されたため条例を改正しました。

邑楽町道路占用料徴収条例の改正

道路法施行令の改正により条例を改正しました。

改正 邑楽町公共下水道条例の改正

下水道排水設備工事に関する要綱等の改正により条例を改正しました。

〔指定管理者の指定〕

邑楽町農畜産物処理加工施設

指定管理者

邑楽町農畜産物処理加工施設

利用組合

指定の期間

平成21年1月1日から
平成24年3月31日まで

平成20年度 補正予算

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	72億0,681万円	1,034万円	72億1,715万円
国民健康保険特別会計	28億5,785万円	10万円	28億5,795万円
後期高齢者医療特別会計	1億9,799万円	505万円	2億0,304万円
介護保険特別会計	12億7,101万円	3,250万円	13億0,351万円
下水道事業特別会計	4億2,109万円	100万円	4億2,209万円
学校給食事業特別会計	2億4,221万円	401万円	2億4,622万円
水道事業	収益的支出	4億9,695万円	5億0,396万円
	資本的支出	2億7,581万円	3億0,095万円

一般質問

一般質問は、12月12日及び16日の両日に行われました。質問には、8人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

来年度の予算等について

石井議員 昨今の経済状況は、国内はもとより世界的にも大変厳しい。町においても歳入面で厳しいと思うが、一向に光明が見えない今日、予算編成に当たっては町民が期待している。暫定予算を組むことなく、精一杯頑張っていたきたい。

町長 実態経済も大変厳しい状況があるということには承知している。町の歳入部分については、町税として各企業における法人町民税・個人所得での町民税・固定資産税等々あるが、特に経済に関する分については法人町民税あるいは個人

の町民税ということに関わるかと思う。国の方も大変で、歳入については見込みがたない状況で、当町においても歳入の中で占める町税の割合というのは大変高く、現在担当の方で精査をしているところである。

石井議員 当町ばかりではなく、各地方自治体がこの問題については大変な心配をしている。自動車関係をはじめ、就職が内定したにもかかわらず就職ができないような断りの連絡を受け、路頭に迷っている。暗いニュースばかりで明るい

ニュースがない。町内企業等の来年の見通しは。
町長 特に限定されて、町内にある自動車関係の法人町民税については、前年においてそれなりの所得等があった場合については予定納税もされている。町内企業については、自動車関係や電気関係等多種にわたっている部分がある。19年度に対して相当の予定納税等の還付もあったので、厳しい見込みになるのではないか。

石井議員 景気の悪化が続く中で無理なことは言えないが、当然納税する義務があるにもかかわらず滞納されている未収金について、町長自ら陣頭指揮をとって徴収に当たる考えがあるか。

町長 町税の滞納については大変多額な滞納金がある。滞納している方の事情や状況を聞くことが大切である。徴収については全庁一丸となった体制に移して行いたい。納税者の理解をいただいて納税義務をお願いしたい。

石井議員 歳出については歳入が少ないと歳出も抑制しなければならぬ。健全な財政を守っていく中で、公共事業を含めての主な事業について伺いたい。

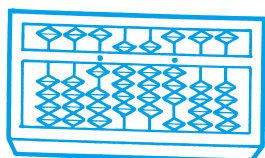
現在の事業を優先

町長 歳入については、大変な減収見込みである。中身を精査した中で、新事業をおこすということよりも、現在進めている事業を優先的に行っていくきたい。

石井議員 町民サービスを低下させないようバランスのとれたやりくりを。

町長 厳しい予算の中で現在の事業を優先的に進めたい。新しい事業では、地産地消の協議会が設立できた。

- その他の一般質問
- ◎ 町づくり座談会について
 - ◎ 厚生病院の問題について
 - ◎ 定額給付金について
 - ◎ 裁判について



町長就任一年経って

大野議員 合併問題についての町長の考えは。

町長 過去に西邑楽三町合併の経過があったが、現状は太田市との協議を進めているため、現時点

では無理である。町民皆さんの意見の集約や議員の考え方など重要な点で合併についての機運・盛り上がりはまだないと思っている。

大野議員 町長は立候補のとき記者会見で、西邑楽合併推進を掲げ当選された。

三町合併は難しい

町長 現時点では、三町合併は難しいと認識している。

大野議員 これは重大発言である。西邑楽三町合併ができないのは前町長の責任だとして、あなたは先頭になって不信任決議案を出し、首を取りに行った。合併の議決ができないのであれば、議会解散である。そして、町民に信を問うのが筋である。今、吉井町では合併問題で議会解散を求め、リコール署名が提出された。邑楽町は、リコールをしなくとも議会自ら解散についての決議案を出したが、当時議員であった町長は反対した。邑楽町の混乱混戦はここから始まった。

過日の座談会の中では議会の中で話もしていな

いが、太田市と館林市の中間に位置しているの理想の形として東毛広域市町村がよいと言っている。合併の問題について政策や方向性が変われば、政治家として人のせいばかりにしないで、責任はあると思うが。

町長 座談会での話は、現時点での合併に対する考えを強調させていたのだ。合併の問題が難しいということは承知している。当時私は、まだ一年生議員であり、先頭に立ってやったと思われるのであれば仕方ないが、皆さんの合意でやったということである。

大野議員 町長が議員時代6名の議員に裁判を起こした。あなたの代理人である弁護士は「裁判は長くても半年くらいで、100%勝つ。」といい出発したが、結果は放棄である。政治家としてあるまじき行為だ。あなたの起こした裁判は、解決されているのか。町長選のしこりをうまくクリアできず、業者や

弁護士と結託して共に庁舎建設をぶち壊してきた。そして裁判を起こした。業者は住民と共にと言っているが、あなたが最大な過ちを起こしている。よく町長室に入れる。

町長 町長選に立候補し、信任を得て現在があるわけで、町長室で執務をさせていたにすぎない。

大野議員 町の監査請求も裁判もすべて弁護士の誘導である。町長が原告の裁判と町が被告の裁判、ともに弁護士は同じである。町長は政治家として責任を取り辞職しない限り、町は良くならない。

町長 町の裁判は、町民の負担がない方向での和解をしたいが、議会が最後まで判決を求めるべきだということとは弁護士に報告済みである。

- ◎ 道路改良について
- ◎ 教育の現況と課題
- ◎ その他の一般質問

AEDの運用について

田部井議員 安全・安心の町づくりを進めている邑楽町においてAEDの設置状況は。

校に設置され、福祉センターに設置予定である。

況は。

田部井議員

AEDを民間

総務課長 現在、役場庁舎・保健センター・邑楽町公民館・勤労青少年ホーム・町民体育館・各小中学

人が緊急時に自信を持って使うには、AEDの講習等が必要と思うが講習状況は。



AED(自動体外式除細動器)

総務課長 消防署での応

急手当講習で、AED13回、
普通救命の関係は中学校
の教員・婦人消防隊・中
学生・老人介護施設の職
員・町内事業所などで、A
EDの講習を受けている。

19年と20年の2年間に合
計して35回の講習で、約1、
000人が受けている。

田部井議員 私はまず最
低限、AEDが設置されて
いる施設の職員は、漏れな
く全員講習を受けてしか
るべきと考える。役場職員
は全員受けているのか。

総務課長 職員について
は役場庁舎に設置したの
を機会に、AED講習を1
回行い、24名が受けてい
る。

田部井議員 庁舎にAED
があるというのであれ
ば、職員すべてが1、2回
の講習を受けていないと、
この先、町民・各種スポー
ツ団体指導者・PTA役
員・育成会・婦人消防隊
等いろいろな方に講習を
受けてくださいとのお願

いがしにくいと考えるが。

町長 議員が指摘のとおり
と思う。今後、緊急時に即
対応できるように体制を整
えていくことが大切だと思
う。

田部井議員 AEDは異常
時に備える道具だと思
町に何台あっても、使いこ
なせる方が増えない限り、
宝の持ち腐れになる可能性
もある。ぜひとも町民の理
解を得て、講習会・説明会
そういったものを積極的に
受けていただける環境づく
りが必要では。

多くの方に講習を

町長 このAEDの器具は
現在12台が設置してある。
一人でも多くの方に講習を
受けていただける環境をつ
くっていくことが大切だと
思うので、対応していき
たい。

鶉土地区画整理事業について

本間議員 平成13年に工事
を開始して7年経過したが、
進捗状況を伺いたい。

町長 平成35年までの完成
という目標の中で総事業費
が約70億円。現在までの実
施事業の費用は11億円ほど
で、約16%の事業が進めら
れてきている。全体で39・
7ヘクタール、仮換地指定
については21・8ヘクター
ルの指定をし現在に至って
いる。

本間議員 町長は、5年間
で区画整理を全部やるとい
う公約を言って地権者の切
実な訴えに答えたと思う。
平成20年度より平成21年度
の予算が少なくなることが
ないように要望したいが町
長の見解を伺いたい。

事業費の増額を検討

たいという気持ちは議員と
同じである。事業費の増額
ができるよう検討してい
きたい。

その他の一般質問
◎町づくり座談会について
◎来年度の予算について

町長 5年間での完成を期
待してということだが、大
変長い期間の中で70億とい
う総事業費を考えれば、そ
のような発言をした記憶は
ない。一日も早く完成させ



工事が進む鶉土地区画整理事業

町道19号線開通に伴う 交通安全対策について



明野住宅団地内町道22号線

山田議員 町道19号線の開通が間近に考えられる今、それに接続した22号線の交通安全対策をどのように考えているか。

土木課長 22号線は明野住宅団地造成にあわせて、国

庫補助事業により整備され、19号線と一体的に都市計画決定されている。町道としては最も高規格で、幅員が16mある。西側には青色の防犯灯照明が設置されているが、東側歩道は一部暗い

るが、東側歩道は一部暗い

感じもあり、今後研究していきたい。

山田議員 開通後は、主要地方道足利・邑楽・行田線利用の車が22号線へ流れ、交通量が増えると考えられる。また、この道路は大きくS字カーブをしており、その上高低差もある。通学路・生活道路としての危険度も非常に上がってくる。そのようなことから、横断歩道の明るさやスピードの出し過ぎの防止などについて対策を望みたい。

できるだけ対応を

町長 安全な道路ということはどこの道路についても言えることであるが、住宅密集地でもあり、精査する中でできるだけ対応をしたい。

休憩室

REST ROOM



浦野敏行
(本郷江原・29区)

家庭菜園に芽生え

家庭菜園に芽生え、デビューして8年目になります。きっかけは亡き義父が友達の畑を借りて菜園をやっていました。その畑を雑草が埋め尽くしてまるでジャングルのようになっていたのを見て、今後二度と雑草は生やさないと、現在に至っています。

関心のなかった菜園は、何をすることも初めてで、御近所のお手本を見たり聞いたりして、どうにか人気の野菜などを作っています。

スイカやメロン、カボチャを作った時に味が全くしなくて大失敗。すべて処分したこともありました。

苗さえ植えれば何もしなくても収穫できると思い込んでいましたが、やってみて大変なことが分かりました。まるで子どもを育てるような感じですね。

興味もなかった菜園も今では大好きになりました。



町長就任一年間の 成果について

小沢議員 1年前の町長選

挙は非常に接戦であった。選挙戦では、いろいろ偽りのあるピラが町内全域に配られ、非常に激しい選挙戦であった。平成20年度予算案提出のスタートから厳しい結果であったわけだが、町長の話を伺いたい。

町長 私にとつて、確かにいろいろなことがあったことはご案内のとおりである。それを乗り越えて皆さんの協力をいただいて行政執行をしてきた。ご理解いただきたい。

小沢議員 一般町民、皆さんの話を聞く、あるいは、公約の中で町民受けをするということ、町長室の開放を掲げたが、月に1度の開放に参加されたグループ、実質人数の状況はどうであったか。

町長 5月から11月まで7回実行したが、参加人員に

ついては延べ54人、19グループであった。1グループ5人以上ということ、実数については集計していない。同じ方が2回3回ということもある。

小沢議員 トータル54人、

町長室開放と銘打ってやることの意味がないと思う。全有権者からすればわずか0.2%である。そのために本来休日の土曜日、関係課職員までが町長室に出て来るのである。各地区公民館を利用して、わかりやすい文書で町の実情を知らせたり、多くの皆さんから話を聞いたりした方が町民に役立つと思うが、今後についてどう考えるか。

町長 私は、決してそのように思っていない。来庁された方から、身近に話が出るということ、理解を示す町民もいる。今後どうするかは状況を見ながら、全

く来庁者や申込者がいないとなれば考えていかざるを得ない。

小沢議員 町長というものは、今の邑楽町だけでなく将来も見据えて町の運営をしていただきたい。町全体、住民生活、産業面など、その目の向け方、重心、スタンスについて思いを聞きたい。

町長 町民全体の皆さんに公平性が保てるような考え、スタンスで町政を執行したい。

小沢議員 公平・公正・クリーンな社会であれば、今日の日本のような格差社会にならない。町の産業には、基盤となる農業や建設業・工業・商業・サービス業等あるわけだが、どこに重心を置くのか。

**執行面で
公平・公正に**

町長 それぞれの産業が発展できるように支援し、一体

おうらに嫁いで

休憩室

REST ROOM



長井 理恵子
(下中野・1区)

神奈川から群馬に嫁いで8年が経ちます。娘の誕生を期に、大泉町から邑楽町に引っ越してきました。

慣れない土地で友達が少なかったのですが、町主催の離乳食相談や子育てひろば、保育園での子育て支援等のおかげで、私も娘も沢山の友達が出来ました。

また、神奈川ではあまり馴染みなかったレスリングが、とても盛んなことに驚きました。夫が高校で指導していることもあり、私も娘も自然と興味を持ちました。娘は、この春入園とともにレスリングを始め、とても活き活きとしています。今では、親子3人でレスリングに夢中になっています。

邑楽町は、自然が多くスポーツも盛んで、子育てするのにとても良い環境だと実感しています。



的に取り組んでいく。執行面でも公平・公正に進める。

町長 私自身認識はするが、分析・比較は出来ない。

小沢議員 この1年、毒入りギョーザ事件からサブプライム問題等比較し、大きく打撃を受けた業種は何であるか理解するか。

その他の一般質問

町長 業種を特定することはできないと思っ

◎歳出削減の手段について

て。

小沢議員 町長は事象を客観的に見ることが出来る。

◎広域合併の推進について（2市5町の40万人都市の実現）

子育て支援と町商業の支援を

小島議員 町は予算がないと考えていると思うが、私が考えたところ、平成19年度5月から議員4人削減1人欠員で、5人の報酬削減額は、年間約2、216万円である。町長・教育長の給料を5%削減し、額は年間町長約431万円、教育長約333万円、副町長1、387万円となる。

また、10人の退職者と新入職員6人との差額は7、280万円になる。この削減額を子育てと商業の支援に。

町長 妊婦健診費負担は過去3回を5回にし、大きな子育て環境改善になっている。商品券あるいは物品の援助ということもあるが、子育て支援に限らず、

商工振興・消費拡大をねらい、プレミアム付商品券で支援した経過もある。特に子育て支援限定となると、過日の補正予算審議の中で議論もあり、私も力を入れたい。議員提案による15歳までの医療費等拡大については、私自身有難く思っている。

小島議員 医療補助とか妊婦健診は、また別だと思っ

町にどういいうお店があつて、どういいう人がいて、店の方も、どこの人、どこの子どもだとか、どこから来たのかと、会話があること

が原点ということは、倫理・道徳的な面ということ

によって、明るい町づくりになる。この金をこつちへ

戻すのだから良いではなく、お互い理解し合える立場で

赤ちゃんから100歳の年寄り

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

思いやりのある行政運営を

思いやりのある行政運営を

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

の考えは。

一般質問の掲載について

小倉修議員の一般質問は、本人の申し出により掲載されていません。

◎その他の一般質問

◎教育の機会均等と情緒教育の推進を

◎税等の未収金について



請願・陳情

6件の請願が受理され、所管の
常任委員会に付託されました。
審査の結果は次のとおりです。

〔採択となった請願〕

▼介護保険制度の報酬単価
の引き上げを求める国への
意見書採択についての
請願

請願者
前橋市本町
全国福祉保育労働組合群
馬支部
執行委員長 澤村 直

群馬県農民運動連合会
会長 井上健太郎

▼汚染米不正流通の実態解
明とミニマムアクセス米
の輸入停止を求める請願

請願者
勢多郡富士見村
群馬県農民運動連合会
会長 井上健太郎

▼全額国庫負担による「最
低保障年金制度」創設を
政府に求める請願

請願者
前橋市樋越町
全日本年金者組合群馬県
本部
執行委員長 小崎洋一郎

▼利根川新橋の建設及び幹
線道路網の整備促進に係
る請願

請願者
千代田町舞木
利根川新橋を架ける市民
の会
会長 齋藤久夫

▼福祉施設・保育所の最低
基準を維持し、保育所の
直接契約方式を導入しな
いよう、国に対し意見書
採択を求める請願

請願者
前橋市本町
全国福祉保育労働組合群
馬支部
執行委員長 澤村 直

館林厚生病院におけ
る小児科医の確保を
求める意見書

(要旨)

今日、地域医療を取り巻く環境は大変厳しく、特に産婦人科や小児科をはじめ

意見書

議員提案の意見書3件を、可決しました。意見書は関係行政庁に提出しました。

とする医師不足は全国的に深刻な問題となつていま
このような状況の中、邑
楽・館林地域の2次救急医
療を担う館林厚生病院では、
開業医との連携により「主
治医2人制度」や「紹介型
外来診療」を導入し、医師
の負担軽減を図っていると
ころです。
このような努力をしてい
る中、群馬大学医学部附属
病院の館林厚生病院小児科
医引き揚げについて、これ
が実施された場合には、同
病院の小児科は機能不全に
陥り、邑楽・館林地域の小

議会を傍聴しましょう

今回の定例会は、3月10日から23日を予定しています。

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。

役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録（議事等の経過をそのまま記録したもの）は、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館（長柄公民館）、勤労青少年ホーム（ヤングプラザ）に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/gikai>

詳しくは、議会事務局まで

☎88-5511（内線300）

議会の動き

11月

- 4日 東毛広域市町村圏振興整備組合議会議長会・議会運営幹事会
- 7日 県議長会議会広報研修会
- 9日 館林地区消防組合秋季点検
- 19日 邑楽郡町村議会議長会臨時会、町村議会議長全国大会
- 20日 全員協議会
- 21日 東毛広域市町村圏振興整備組合議会
- 30日 町制施行40周年記念式典

12月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 総務・文教常任委員会、厚生・環境常任委員会
- 3日 建設・経済常任委員会、全員協議会
- 8日 邑楽館林医療事務組合議会議員懇談会
- 11日～17日 12月定例会
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会、全員協議会、広報委員会)
- 15日 館林厚生病院における小児科医の確保を求める意見書の提出
- 22日 館林邑楽農業共済事務組合議会臨時会、大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 28日～31日 消防団歳末警戒の督励

1月

- 8日 広報委員会編集会議
- 10日 館林地区消防組合出初め式
- 11日 成人式
- 14日 群馬県市町村トップセミナー
- 19日 広報委員会校正会議
- 20日 総務・文教常任委員会、全員協議会
- 26日 新年賀詞交歓会
- 27日 邑楽郡町村議会議長会臨時会



児科診療に重大な影響が生じることが懸念されます。よって、群馬県に対し、群馬大学医学部附属病院による小児科医引き揚げ方針の撤回を促し、館林厚生病院の小児医療体制の確保・充実を図るよう強く要望します。

介護保険制度の報酬単価の引き上げを求める国への意見書

(要旨)
近年、高齢者介護事業を筆頭に社会福祉施設等における職員確保が極めて重大な困難に直面しています。介護は、住民の暮らしや安心の確保において、必要な仕事であるにもかかわらず、実際には低賃金、少ない人員配置による長時間で過酷な労働実態が慢性化し、離職者が増加する一方、求職者が減少する悪循環を引き起こしています。

国会では「介護従事者等の処遇改善に関する法律」が成立し、厚生労働省では介護従事者の処遇改善と介護報酬の改定の必要が提起されているところです。政府の次年度予算において、介護報酬の大幅な引き上げにより、介護職場の人材確保問題が解消するよう要望します。

利根川新橋の建設及び幹線道路網の整備促進を求める意見書

(要旨)
群馬県の東毛地域と埼玉県熊谷市、栃木県足利市を結ぶ交通路の中で「利根川新橋」の建設が話題になり始めたのは、約40数年前からです。地域住民にとってこの橋にかける思いは大きく、1日も早い完成が長年の願いであります。

刀水橋、利根大堰及び和橋の混雑緩和だけでなく、群馬県東毛地域・埼玉県北部地域・栃木県南部地域を含む広範囲な地域経済の発展を促進し、地域住民の利便性を飛躍的に向上させる「利根川新橋」を、刀水橋と利根大堰の間に早期に建設するよう要望します。

わたしのふるさと



【大阪府泉南郡岬町】

畑井 英男 (十三坊塚・6区)



総合公園(みさき公園)のイルカショー

私の故郷は、大阪の最南端（和歌山県境）で、海と山に囲まれた人口2千人程の小さな町です。実家から歩いて10分位の所には、海に面した関西の名門コース大阪ゴルフ場、また、隣接して動物園・水族館・遊園地の総合公園があり、非常に環境の良い田舎で育ちました。私が幼少の頃（1945年頃）は、テレビ・電話・冷蔵庫・洗濯機が無い時代でしたから、朝

早くから夕方暗くなるまで、友達5人と海・山で遊びほうけていました反面、夕食は家族全員で話しながら食事ができる環境でもあり、自然に家族愛ができていた時代だったと思います。

当時は汚染問題もなく、海は沖縄のように澄み渡った海で、泳ぎながら貝を取ったり、魚を釣ったり、野原では、レンゲ草が一面に咲いている所で相撲をとったり、山に行っては、自分達で竹バット・竹トンボ・竹馬を作って、自由自在に遊び、毎日安心して楽しい日々を過していました。

50年経過した現在は、当時では考えられない事件（幼児誘拐・無差別殺人・いじめ等）が多い中で、昔のような安心・安全で楽しく明るい生活ができる町づくりに貢献したいです。

編集 後記

新年おめでとう
ございます。今年
最初の議会だより
ですが、多くの町
民の皆様にご協力
いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年12月には補正予算の審議が行われました。予算審議を通じて痛感することは、財政が厳しさを増してきていることです。昨年はまた、オバマ次期米大統領のチェンジ（変革）・取り上げられた漢字「変」に代表された一年でした。今、未曾有の経済不況の真っ只中にありますが、ぜひ今年が良い方向に「変わる」一年になりますよう皆様と共に期待したいと思います。

1月11日には成人式が行われました。成人になられた皆さん成人おめでとうございます。皆さんにはぜひ、身近な地域のこと、そして行政に関心を持っていただきたいと思えます。

議会広報も「ありのままに、わかりやすく、町民とともに」を念頭に、内容の充実したものが届けられるよう委員一同努力してまいります。ご愛読をお願い申し上げます。

(岩崎記)